

ハッピーマジック会員・結婚第1号

結婚促進事業に成果



▲中田市長へ婚姻届を手渡す山上さんと榎本さん

南あわじ市では、少子対策の一環として結婚促進事業「ハッピーマジック」を平成19年8月から取り組んでいます。この会では、独身男女の出会いの場を提供するため、会員制の交流イベントを行っています。

このほど、このイベントで知り合った山上佳彦さん（優文）と榎本成子さん（福良）がめでたくゴールイン。11月23日、市役所緑庁舎を訪れ、婚姻届を提出しました。この

日、中田市長が婚姻届を受けとり、「笑顔があふれる家庭を築いてください」と二人を祝福しました。ハッピーマジックについて、榎本さんは「みんな気軽に参加すればいいと思います」と話していました。

12月10日現在、ハッピーマジック会員は222人登録されており、今後も様々なイベントを開催していきます。（14頁参照）
 少子対策課 ☎44・3040

米づくり、一から体験

リトルファーマーズ

農業体験を通じて、子どもたちに、「農業と「食」」について学んでもらおうと、市教育委員会では5月から子ども農業体験事業「リトルファーマーズ」を実施してきました。

11月29日、最終回となる第6回目の体験教室が伊加利地区公民館で行われました。

この日は、市内の小学生42人が参加。自分たちの手で植え、手刈りして、馬に掛けて乾燥させ、千歯こきで脱穀した、もち米20升を使って、地

域の方々や淡路広域消防職員の皆さんと一緒に餅つきを行いました。

ついたお餅は、保護者やボランティアの方々との協力できなこ餅や、あんこ餅に仕上げられ、子どもたちは「おいしい！」と満足そうな表情で味わっていました。

また、このお餅は、伊加利地区の一人暮らしの高齢者にも、子どもたちからの手紙を添えて、民生児童委員を通じて配られました。



▲餅をつく子どもたち

明るい選挙ポスターで大臣表彰

平成20年度明るい選挙啓発ポスターで、大橋真実さん（市小学校5年）の作品が文部科学大臣・総務大臣賞を受賞し

ました。このコンクールには、全国から約13万人が応募し、その中の学年別1位にあたる賞として、大橋さんの作品が選ばれました。



▲真実さんと作品を持つお父さん

12月15日、市長室で、賞の伝達式が行われ、塚本教育長から表彰状が手渡されました。今後、ポスターは全国で選挙啓発のために活用されます。

人権フェスティバル

人権フェスティバルが12月7日、三原公民館で行われました。席上、人権作文表彰式が行われ、受賞者の代表5人が、自ら書いた作文を披露。人権を意識して書いたそれぞれの思いを朗読しました。

また式後には、メンバーの一人が耳が聞こえないというプロの歌手グループ「アツキヨ」がライブを上演。手話の実演などで、参加者もいっしょに参加しながら、ライブを楽しみました。



▲作文を朗読する受賞者

国生みの館、国登録有形文化財に

島内5件目



▲イングランドの丘の敷地内にある「国生みの館」

イングランドの丘にある「国生みの館」が11月10日、国登録有形文化財に登録されました。島内では、5件目の登録となります。

明治17年（1884年）、市福永に三原郡役所として建設された同館は、玄関部に飛び出したポーチが特徴的。要となる円柱にはレリーフなどが飾られ、古代ギリシャ風の建築を想起させます。また、木造の和建築に西洋の建築様式を取り入れたものは、明治中期

の郡役所の典型的なもので、特有の風情を感じさせます。旧三原郡役所は、阪神・淡路大震災で半壊となり、一旦解体の決定がありました。しかし、地元の強い保存要請があり、解体後一時保管され、昨年度「国生みの館」として、移築されました。

現在、同館は県内現存の郡役所としては、最古のものとなっており、当時の平面设计を考えるうえで重要な建築物と考えられています。

市のシンボル策定に着手

市民参画のまちづくり委員会が発足

南あわじ市では、市のシンボル（花、木、鳥）や市民憲章、市民音頭などを策定するため「市民参画のまちづくり委員会」を発足させました。

12月3日、第1回目の委員会が市役所中央庁舎で開かれ、自治会や商工会、観光協会など各種団体の代表者8人に委嘱状が中田市長から手渡されました。

それぞれの有識者を加えた専門委員会を立ち上げ、市民の意見を聞きながら市のシンボルなどを決めていくことに決まりました。



▲発足した市民参画のまちづくり委員会

市議会、議長・副議長の改選

南あわじ市議会では、11月27日開かれた第22回南あわじ市議会定例会で、正副議長選挙が行われ、議長に森田宏昭氏、副議長に沖弘行氏が選任されました。



▲中田市長から表彰状を受ける最優秀賞の平川優奈さん

ASA絵画コンクール表彰式

南あわじ市と徳島県鳴門市、香川県東かがわ市の3市が一つの交流圏として活動している「ASAトライアングル交流圏推進協議会」のこのほど、3市の小学3・4年生

を対象に、それぞれのまちの自慢できる風景等の絵画コンクールを行いました。市内から127点の作品の応募があり、その中から15点が入賞作品として選ばれました。12月6日には、イングランドの丘で入賞者の表彰式が行われ、中田市長等より入賞者へ表彰状と記念品が手渡されました。作品は、渦潮や淡路人形、鬼瓦など、南あわじ市の観光地や特産品を子どもたちの感性で描かれた秀作ばかり。鳴門市と東かがわ市の作品と合わせて3市の主要施設で展示されました。

ふるさと納税

ふるさと南あわじ応援寄附金 寄附状況の公表 (12月16日現在)

区分	件数	金額
南あわじ市内	91件	20,113,000円
市外(島内)	19件	1,321,000円
市外(島外)	61件	6,554,140円
合計	171件	27,988,140円

詳細は市のホームページに掲載しています